



インターネットでの情報提供

提供予定日 5月22日(水)

平成25年5月21日(火)		岐阜県政記者クラブ配付資料	
所管課	担当	担当者	電話番号
商工労働部商工政策課	政策企画係	田口 博史	県庁内線(3042) 058-272-8350(直通)

「ココイチ☆ハイスクール」が開校します！

～産学官連携による産業教育プログラム～

岐阜県では地域に根ざした産業人を育成するため、産学官連携による産業教育を推進しています。このたび、その一環として、県内を中心に「カレーハウスCOCO壺番屋」をフランチャイズ展開している(株)ホープのご協力の下、県立岐阜商業高校の流通ビジネス科3年生40人を対象に、「ココイチ☆ハイスクール」を実施することとし、5月27日(月)に開校式及び第1回講義を開催します。

本スクールでは、生徒が、店舗の経営者や運営スタッフから直接指導を受けながら、約9ヶ月間の長期にわたり、カレーの商品開発から販売に至るまでの一連のプロセスを実践的に学びます。

本スクールを通じ、生徒がビジネスの魅力や起業家精神、そして地方でも素晴らしいビジネス機会があることを学び、地域社会や産業の活性化に貢献する人材へ育ってくださることを願っています。

記

1 「ココイチ☆ハイスクール」開校式及び第1回講義

(1) 日時 平成25年5月27日(月) 13:10～15:10

(2) 場所 県立岐阜商業高校 メディアホール(北舎4階)

(3) 内容 開校式(県立岐阜商業高校校長挨拶、商工労働部長挨拶、生徒代表の言葉)

第1回講義(店舗経営者による講演[講師:(株)ホープ代表取締役 ^{かとうゆきしげ}加藤幸滋氏])

※報道関係者向けに公開形式(取材可)により行います。

(当日の連絡先:058-231-6161(県立岐阜商業高校))

2 カリキュラムの内容

①商品開発に関する講義・実習

■商品開発現場の見学

同社本部併設の研修センター「キッチンスタジアム」を見学し、本部スタッフから、同社のマーケティング戦略や商品開発の現状について講義を受けます。

■商品開発事例の研究

同社の過去の開発商品の成功例や失敗例から、商品化のポイントを探ります。

■商品案検討のワークショップ

生徒が6グループに分かれて、商品の開発から販売までの戦略を検討します。

■商品化コンテスト

生徒が開発した6種類の商品を試食し、商品化を目指す1商品を投票で選ぶコンテストを行います。

■本部スーパーバイザーへのプレゼンテーション

商品化の最終審査を行う同社本部スーパーバイザーを相手に、生徒が開発した商品をプレゼンテーションします。

②商品販売に関する講義・実習

■接客コンテストへの出場

店舗で接客トレーニングを積んだ生徒の中から選ばれた代表生徒1名が、同社が主催する接客コンテストに出場して、新入社員らと接客の技を競います。

■販促POPの作成実習

開発商品の販促POPの作成を通して、商品の上手な見せ方や売り方を学びます。

■実店舗での販売実習

生徒が開発した商品を実際に店頭で販売し、お客様へのサービスやマナーの大切さ、自ら考案した商品を売る楽しさや難しさを体感します。

③その他の講義・実習

■店舗経営者による講演

店舗経営者を講師に迎え、店舗を現在のように成長させるまでの道のりや、店舗運営を行う上での苦労ややりがい、夢などを語っていただきます。

■地域イベントへの参加

農業祭などの地域イベントへの出店を通じて、地域社会との交流を深めるとともに、地域貢献の大切さを学びます。

3 実施スケジュール

時期	場所※	講師	講義・実習内容等
5月27日(月)	校内	(株)ホープ スタッフ	・開校式 ・店舗経営者による講演
6月12日(水)	本部	本部スタッフ	・商品開発現場の見学
6月17日(月)	校内	県職員 (株)ホープ スタッフ	・岐阜県の特産品(農産物、加工食品)についての講義 ・商品開発事例の研究
6月下旬～	校内	(株)ホープ スタッフ	・商品案検討のワークショップ
7月	校内	(株)ホープ スタッフ	・店舗における接客についての講義
7月～8月	店舗	(株)ホープ スタッフ	・接客コンテストに向けたトレーニング
8月下旬	本部	—	・接客コンテストへの参加
10月初旬	県庁	—	・商品化コンテスト
10月中旬	本部	—	・本部スーパーバイザーへのプレゼンテーション
10月～11月	校内	(株)ホープ スタッフ	・販促POPの作成実習
10月～11月	—	(株)ホープ スタッフ	・地域イベントへの参加
12月～1月	店舗	(株)ホープ スタッフ	・実店舗での販売実習
2月上旬	校内	(株)ホープ スタッフ	・販売結果の発表 ・振り返り

※校内：県立岐阜商業高校校内／本部：CoCo 壺番屋本部（(株)壺番屋本社）／店舗：CoCo 壺番屋「岐阜大学前店」

「カレーハウスCoCo壺番屋」について

国内カレー専門店チェーン最大手の(株)壺番屋（本社：愛知県一宮市）が運営する店舗。同社では「ブルームシステム（社員のれん分け制度）」という独自のフランチャイズシステムにより、国内外へ店舗を展開（H25.3月末現在1,350店舗）。独立を前提に入社した社員が、店舗で接客や調理などを学び、ステップを踏んで店長へ昇格。人事・経理など店舗運営の高度なノウハウを習得し、経営者にふさわしい能力を身に付けたと認定された者だけに独立資格が与えられ、オーナーとして独立開業ができる。

(株)ホープ（本社：岐南町）もその1つで、県内外で11店舗をフランチャイズ展開している。

なお、(株)壺番屋では、店舗ごとのオリジナルメニューの導入を推進するなど、従来の全国一律というチェーン店の常識を超えて、個々の店舗の魅力を増すような取組みに力を入れている。

＜参考／県が実施する産学官連携による産業教育＞

県では、資金や経験に乏しくとも、起業家精神にあふれた若者の育成を図るため、学校や産業界と連携しながら、現場での実践を重視した産業教育に取り組んでいます。

【最近の実践例】

(1) 商業高校

- 高校生による中小企業魅力発信事業（平成24年度～）【担当課：商工政策課】
 - ・地元企業経営者の講義を聞いた生徒が、関心を持った企業に直接出向いて取材し、高校生の視点で発掘した中小企業の魅力をテレビ番組で発信。
 - ・実施校：県立岐阜商業高校
- ぎふネットショップハイスクール（平成24年度～）【担当課：商業流通課】
 - ・平成22・23年度に実施した「楽天IT学校」を継承し、県内高校5校の生徒が「共同授業形式」でネット販売や商品開発の手法を学習。平成24年12月から平成25年1月にかけての約1ヵ月間は、自分たちが開発した6種類のオリジナルのベーグルを、インターネット（楽天市場）及び県内の大型商業施設などで販売。
 - ・実施校：県立岐阜商業学校、市立岐阜商業高校、各務野高校、土岐商業高校、中津商業高校

(2) 工業高校

- 航空宇宙産業との連携（平成23年度～）【担当課：学校支援課】
 - ・中日本航空専門学校や地元企業と連携し、最新鋭旅客機B787に使用されている炭素繊維複合素材について研究。
 - ・実施校：岐阜工業高校
- 陶磁器産業との連携（平成23年度～）【担当課：学校支援課】
 - ・地元企業と連携し、高度なデザインを施した陶磁器製品を設計製作。
 - ・実施校：多治見工業高校

(3) 農業高校

- ファミマ商品開発学校（平成24年度～）【担当課：商業流通課】
 - ・平成22年9月に締結した(株)ファミリーマートとの包括協定に基づき、高校生が同社と共同で、岐阜県にちなんだオリジナル商品（岐阜県産恵那どりを使用した「恵那どりと1/2日分野菜のスープ」と飛騨高原牛乳を4.9%使用した「ストロベリードーナツ（イチゴジャム&ホイップ）」）を開発し、中部地方の店舗で販売。また、岐阜県庁店において同校生徒による販売実習を実施。
 - ・実施校：岐阜農林高校